



学年の折り返し地点を迎えて

副校長 渡辺 賢志

朝晩の風が涼しい時期となりました。体育館や校庭からは、「先生。僕の動きを見てください！」「できました！」「頑張ろう！」など、子供たちの元気な声が聞こえてきます。子供たちは十月八日（土）開催の運動会に向け、精一杯練習に励んでいます。今年度も感染症対策を踏まえた形での開催となりますが、子供たちの頑張りに応援をよろしくお願いいたします。

さて、運動会のある十月は、四月から数えてちょうど半年が過ぎた月になります。学年の折り返し地点となるため、年度当初、四月に立てた目標・課題（めあて）を振り返るのにふさわしい時期です。一年間の初めにイメージした自分の成長に対して、各学年の児童としてふさわしく成長してきているのかを一度立ち止まって考えてみてほしいと思います。今、順調に成長してきているか、そうでないとしたらその理由は何か、今後、どのような努力をすればよいか、などといったことを深く考えてみるのが大切です。それを基に、学年の後半に向けて新たな目標を設定したり、見直したりすることです。保護者の皆様には、子供たちの振り返りを聞いていただき、四月からの成長を認め、褒めてあげてくださると幸いです。子供たちのこれからの励みにつながります。

二学期は秋の深まりとともに三学期に向けて、心も体もたくさん栄養を取り入れ、力を蓄えていく時期です。本校教職員も「地域の学校」として精一杯頑張っています。今後も変わらぬ御支援をいただければ嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

教育目標

歴史を誇る久が原の大地に

深く根を下ろし桜のように明るく潔く、

樺のように天高く伸びてゆく久原小学校に学ぶ子は、

- 一、健康な子
- 二、考える子
- 三、やさしい子
- 四、礼儀正しい子

日	曜	予定	備考	日	曜	予定	備考
1	土	都民の日		17	月	全校朝会 クラブ活動 出前授業（4年生）	
2	日		ス	18	火	指導教諭授業（1年1組）	SCS
3	月	委員会活動（前期最終）		19	水	B時程 児童集会	
4	火		SCS	20	木		SCU
5	水	運動集会（5～6）B時程4時間 研究授業（3年5組）		21	金	生活科見学（1）	
6	木		SCU	22	土		
7	金	運動会リハーサル 運動会前日準備（5～6、6校時）		23	日		ス
8	土	運動会		24	月	全校朝会 クラブ活動	
9	日			25	火		SCS
10	月	スポーツの日		26	水	B時程 児童集会	
11	火	振替休業日		27	木		SCU
12	水	B時程 安全指導		28	金	生活科見学（2）	
13	木	避難訓練	SCU	29	土		
14	金			30	日		ス
15	土			31	月	全校朝会 委員会活動（後期開始）	
16	日		ス、校	1	火	指導教諭授業（1年1組）	SCS

（備考）

SCU：浦山スクールカウンセラー来校
SCS：佐々木スクールカウンセラー来校
ス：スポーツ開放 校：校庭開放

生活目標	健康な体づくりをしよう。
給食目標	好き嫌いなく食べよう。
保健目標	目を大切にしよう。
安全目標	白線の内側を歩こう。

「音楽づくり」で育む「未来を生きる力」

音楽専科 大滝 史子

今の小学生が社会に出るころには世の中の職業が半分以上なくなり新しい職業が生まれ、必要とされる資質・能力も変化していると言われていています。そのような時代に対応できる力を育むための指導を各教科等で実践しています。

学校の音楽といえば、合唱や合奏を思い浮かべる方が多いと思います。息の合った美しい響きの合唱や合奏は本当にすてきです。一方で、鑑賞や音楽づくりという学習もあります。そこでは、音楽はどのような仕組みや要素から生まれるのかを知り、その良さを理解して新たに音楽を作る活動をします。そこには、既存する完成形に近づけるべく技能を磨く学習とは異なり、自分が新たなものを作る力を育む学習があります。

授業での一例をあげますと、先月に5年生で日本の音階を用いた旋律作りをしました。その活動の流れは、まず、一人で2小節の旋律をつくり、それを3人組になって8小節の旋律につなげ、さらに伴奏のような音を作って重ねて演奏するというものです。個人での旋律づくりでは、どのように音を組み合わせるとイメージ通りの旋律になるかを考え、試行錯誤して自分の考えを形にする姿が見られました。3人グループで旋律を繋げたり重ねたりする場面では、どの順番で旋律をつなげたり、繋ぎ目の音を修正したりするとまとまりのある音楽になるか等を話し合い、皆が主体的、協働的な姿が見られました。そして学習の最後には、これらの活動で得た知識や経験をもとにして、さらに作品の完成度を高めるか、または新たに異なる音階を使用して作品を作るかを、グループごとに考えて課題を設定して学習していきました。

このような学習を通して育まれるのは、協働して新たな価値を生み出し現実のものにする力です。教師の予想を上回る工夫をする児童も少なくなく、その力を将来発揮してほしいと思います。

好き嫌いなく食べよう

栄養士 大脇 遥香

10月の給食目標は、「好き嫌いなく食べよう」です。食べることは、子供たちが成長したり、活動したり、健康を保ったりする上で欠かせない大切なことです。食品によって含まれる栄養素はそれぞれ違うため、好き嫌いなくいろいろな食品を食べてほしいです。給食の人気メニューにパリパリサラダやビーンズポテトがあります。これは、苦手な子供が多い野菜や豆を使った料理です。野菜にワンタンの皮を揚げたものを混ぜる、豆を煮るのではなく揚げるなど、苦手な子供が多い食品も食べやすくなるように工夫をしています。まずはこのような料理で食べ慣れていき、苦手な食品も少しずつ食べられるようになってほしいと思います。

～苦手な食べ物を食べやすくする工夫～

- ◎ ケチャップ味やカレー味など好きな味付けにする。
- ◎ 型抜きなどで好きな形にしたり、小さく刻んだりする。
- ◎ 旬（いちばん美味しい時期）を知り、旬の時期に食べる。
- ◎ 野菜を育てたり、自分で料理をしたりしてみる。
- ◎ おなかをすかせて、家族と楽しく食べる。



親子で健康な体づくり

生活指導部 伊奈 真知子

スポーツの秋。よく「私は運動神経がないから。」と使っていますが、運動神経という名前の神経はありません。小学生の間は、体と脳を結びつける神経細胞が発達する時期。体を動かすことで、バランス感覚やリズム感覚、敏捷性などが育まれる最適な時期です。また、運動は喜びや達成感を得て、心にとっても良い効果につながります。親子で一緒に楽しく運動してみませんか。キーワードは「楽しく」。

例 「二人でパス」→仰向けにV字でバランスを取りながら、足ではさんだ座布団やクッションをパスし合う。

「ひっぱりっこ」→足を開いて向き合い、互いの足裏を付けて両手で引っ張り合う。など。

